

地方大学・地域産業創生交付金（岐阜県）〈計画期間：H30年度～R9年度（R5年度より展開枠）〉 （航空宇宙生産技術開発センターを核とした地域における知・人材の集積・定着）

概要

- 岐阜県では、地域中核産業である航空宇宙産業に加え、同産業と多品種少量生産という特徴を同じくする関連産業において、東海国立大学機構の航空宇宙生産技術開発センターの活動を通じ、**就業者の増加、若者雇用の創出**を目指す。
- センターでは、モノづくり・生産技術の高度化・課題解決を図る共同研究や研究成果の現場実装を重視した『**研究開発**』と、航空機を題材に設計から製造、実証・評価までの一連の製品開発のプロセスを実体験できる生産技術を重視した『**人材育成**』を実施。
- 地域の航空宇宙産業では、センターの研究成果を活用し、生産性向上に向けた取組を実施するとともに、関連企業（航空機エンジン、工作機械、治工具産業など）が、現場を熟知した技術者をセンターに派遣し企業の課題解決に向けた**実装研究**を実施することで、県内企業の技術力を強化。

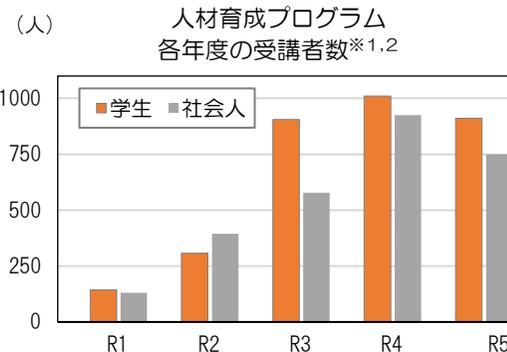


航空宇宙生産技術開発センター

これまでの成果

（大学）

- 学生向けに、**岐阜大学（生産技術）と名古屋大学（設計技術）**の両大学の強みを活かし、航空機の設計・生産・飛行実証・評価技術を一貫して習得・実体験できる**国内唯一の「航空宇宙設計・生産融合人材育成プログラム」**を実施※1。
- 社会人向けに、文部科学省BP認定プログラム・履修証明プログラムとして「生産システムアーキテクト・リーダー育成プログラム」及び短期集中講座を実施※2。
- 岐阜大学機械系・電気系・情報系学科の卒業生の地元企業への就職者数が増加。
（R3-5実績は、事業実施前（H27-29）の約1.6倍）



（産業）

- 本PJの研究成果の現場導入数は、KPI（12件）を上回る成果を達成。
（H29：3件 → R5：累計17件※3）
例：参画企業において本PJで開発した生産工程シミュレータ※を基幹システムへ組み込み、稼働中。現在、予測の高速化と精度向上に向けた改良に取り組んでいる。
※過去実績のビッグデータ解析から実世界のジョブショップを情報世界でモデル化し、デジタル・ジョブショップを開発、製造リードタイムを削減する
- 本PJの参画企業が、両大学へ研究員を派遣し、**次世代技術の企業現場実装**に向けた研究を実施。
例：航空機関連企業が研究員を岐阜大学に派遣、AIや画像処理等を活用したセンシング技術開発に従事。今後、航空機エンジン部品工場において当該技術を実装し、効率化・生産性を向上。

〈現場導入事例※3〉



航空機外板用スクリング装置へデザイン技術活用
企業現場における自動搬送装置の実証試験

事業責任者：下川 広佳（川崎重工業株式会社 航空宇宙システムカンパニー プレジデント）

主な参画機関：（官）岐阜県、（学）東海国立大学機構（岐阜大学、名古屋大学）、（産）川崎重工業株式会社 ほか

<令和6年7月時点>